学校番号	２０５

令和８年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	発展日本史	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史」　（山川出版）						
副教材等	「詳録新日本史史料集成」（第一学習社）・「最新日本史図表」（第一学習社） 「ポテンシャル日本史　基礎力養成編」（さんぺい出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史総合、日本史探究にて培った知識をさらに発展させ、歴史的事象の原因と結果のつながりを意識する視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方や世界との関わりを考える。
・事前に教科書を読んでおくこと。細かい知識を身につける前に時代の大まかな流れをつかんでおく。授業の内容に集中することはもちろんであるが、説明の中で重要だと考えたり、疑問に感じたことをメモしたりするなど自分なりの工夫を加えてほしい。プリント・ノートが黒板の丸写しでなく、自分なりのオリジナルになるよう心がけてほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】・日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解する。
【思考力、判断力、表現力等】・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】・現在の日本の有りようを意識し主体的に行動する市民としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史についての基本的な事柄を，国際環境と現代社会に関連付けて総合的に理解し，その知識を身に付けている。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし，国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め，その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する市民としての責任を果たそうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	院政と武士の躍進	鎌倉幕府の成立 武士の社会 モンゴル襲来と幕府の衰退 鎌倉文化	a：武士が土地の所領関係で結びついていることを理解し、その知識を身に付けている。荘園などを武士が実力で奪いとり、対等していく過程を理解し、その知識を身に付けている。東アジアの動向が日本の歴史に大きな関わりを与えていることを理解し、その知識を身に付けている。武家社会の成立と新しい文化の出現との関係を理解し、鎌倉文化についての知識を身に付けている。 b：武士の出現や武家政権の成立について、文化や特色と関連付けながら考察し、適切に表現している。 c：古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。	定期考査 ノート提出	定期考査 ノート提出	授業態度 発問評価 課題提出 ノート提出
	武家社会の成長	室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場	a：鎌倉幕府が滅亡し、全国の武士や悪党が様々な勢力にわかれて戦ったことを理解し、その知識を身に付けている。室町幕府と東アジアの関係を理解し、その知識を身に付けている。守護大名の時代から戦国大名が出現してくることを理解し、その知識を身に付けている。村の自治が成長してくることを理解し、その知識を身に付けている。室町時代の社会が現代の日本の文化の土台を生み出したことを理解し、その知識を身に	定期考査 ノート提出	定期考査 ノート提出	授業態度 発問評価 課題提出 ノート提出

			つけている。 b: 南北朝の動乱、室町時代、戦国時代のそれぞれの時代について、出来事や文化に着目しながら考察し、適切に表現している。 c: 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。 15 世紀から 16 世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。			
2学期	幕藩体制の確立	織豊政権 桃山文化 幕藩体制の成立	a: 天下統一の過程にて、ヨーロッパからの影響があることを理解し、その知識を身に付けている。封建社会が年貢をとることによって成り立っていることを理解し、その知識を身に付けている。幕藩制度の特徴を理解し、その知識を身に付けている。江戸幕府の貿易の特徴と禁教令の関係を理解し、その知識を身に付けている。新興大名や豪商によって担われた桃山文化の特徴を理解し、その具体例や作品の知識を身に付けている。 b: 織田信長や豊臣秀吉による天下統一の過程や、徳川家康の築いた江戸幕府のシステムの特徴について考察し、適切に表現している。 c: 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査 ノート提出	定期考査 ノート提出	授業態度 発問評価 課題提出 ノート提出

	幕藩体制の展開	幕政の安定 経済の発展 元禄文化	a:幕藩体制の安定期の状況や政策を理解し、その知識を身につけている。農業技術や諸産業の発達の背景を理解し、その具体的な知識を身につけている。文化の成立の背景を理解し、その具体例や作品の知識を身につけている。 b:文治政治への転換の背景や理由を考察し、その状況を適切に表現している。幕藩体制の安定期の状況や政策・政権担当者などを考察し、その特徴を適切に表現している。 c: 幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。 近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしようとしている。	定期考査 ノート提出	定期考査 ノート提出	授業態度 発問評価 課題提出 ノート提出
3学期	幕藩体制の動揺	幕政の改革 宝暦・天明期の文化 幕政の衰退と近代への道 化政文化	a:幕藩制度の矛盾の出現の理由を理解し、その知識を身に付けている。百姓一揆・打ちこわしの背景を理解し、その知識を身に付けている。幕府の改革の失敗の理由を理解し、その知識を身に付けている。異国船の接近が幕府にもたらした影響を理解し、その知識を身に付けている。町人文化の成熟の背景を理解し、その具体例や作品の知識を身に付けている。 b: 幕府の改革についてそれぞれの特色をおさえつつ、幕藩体制の矛盾が表面化していく過程について考察し、適切に表現している。 c: 幕藩体制がしだいに動揺していく過程や蘭学・国学の普及、民衆文化の発展などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	定期考査 ノート提出	定期考査 ノート提出	授業態度 発問評価 課題提出 ノート提出

	近代国家の成立	・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 ・明治維新と富国強兵	a: 近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 b: 現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:ペリー来航から、近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究する。	定期考査 ノート提出	定期考査 ノート提出	授業態度 発問評価 課題提出 ノート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度